

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

青森市熟年野球協会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年度は大会の中止を余儀なくされましたが、令和3年度については、依然として新型コロナウイルス感染症の収束は見通せないものの青森県内及び青森市内の感染状況は落ち着きを保っており、学校の部活動や各種スポーツの対外試合等も通常どおり実施されている状況に鑑み、青森市熟年野球大会を開催することといたしました。

については、各チーム及び各選手において、下記事項に留意し、日頃から十分な感染防止対策に努めていただきますようお願いいたします。

記

○日常的な取組

- ・密閉、密集、密接のいわゆる3密を避け、マスクの着用やこまめな手洗い、うがいを励行すること。
- ・部屋等の湿度を保つとともに、こまめに水分補給を行って口腔内の湿潤を保つこと。
- ・十分な睡眠を心掛け、定期的に体温を計測するなど体調管理を徹底し、発熱や咳症状があるなど体調が優れないときは自宅で休養に努めること。

○大会開催中の取組

- ・試合当日の朝、監督、選手等が各自で体温を計測し、発熱(37.5[℃]以上)や咳症状があるなど体調が優れない場合は自宅で休養に努めること。
- ・試合会場に入る際は、必ずマスクを着用することとし、各チームの体温計測が終わるまではマスクを外さないこと。
- ・各チームにおいて、非接触型温度計(4,000円前後)等を購入して試合会場に持ち込み、体を動かす前に監督、選手等全員の体温を計測し、発熱が認められたときは直ちに帰宅させること。その上で、チーム内に発熱症状のある者がいないことを試合前に主審に報告すること。
- ・各チームにおいて、手指消毒用のアルコール液やウェットティッシュ等を購入して試合会場に持ち込むとともに、水道設備のない会場にあつては手洗い・うがい用の水を準備するなど感染防止対策の徹底を図ること。
- ・試合前後の挨拶は、審判員のみ本塁付近に整列し、監督、選手等はベンチ前に間隔を開けて整列して行うこと。
- ・試合会場では人の密集を避け、近距離での会話や大声での発声を控えること。
また、試合中、ベンチ内ではマスクを着用してもよいこと。
- ・参加チームの中から感染者の発生が判明した場合は、直ちに試合を中止し、その旨を事務局に連絡すること。